

神崎市立千代田東部小学校

令和3年度 教育の日特集

<学校の自慢>

校訓：「白鳥蘆花に入る」「渾身勉学」



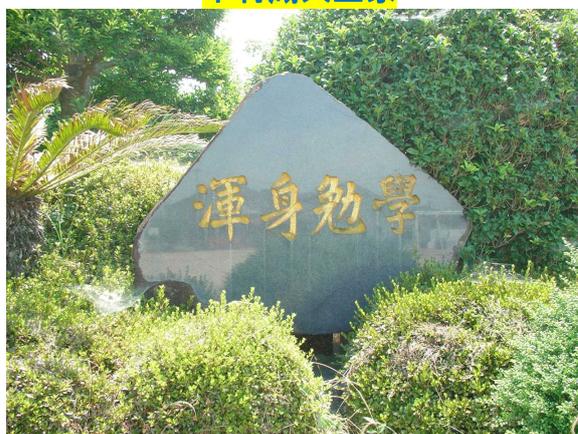
毎日見ている校訓



下村湖人生家



校舎の中で声かけ「次郎さん」



校庭の「渾身勉学」の石碑

下村湖人先生の心・教えを受け継ぎ、地域の方々に温かく見守られながら頑張っています。

<教育目標>

『夢に向かって、気づき・考え・行動する』児童の育成

～ 自分大すき、友だち大すき、学校大すき ～

○ めざす児童像

元気いっぱい、輝く笑顔で登校する児童

- ・(自分大すき) 得意分野(自慢)をもち、仲間と未来を語る心優しい子
- ・(友だち大すき) 意欲的で、自信をもって自己表現できる子
- ・(学校大すき) 試行錯誤し、根気強く挑戦できる(取り組む)子

○ 今年度の実践

(1) 校内研究(道徳科)の授業実践

研究主題：「自己をみつめ、他者と共によりよく生きようとする児童の育成」

～主体的に話し合い、互いに深め合う道徳教育を通して～

本年度は、授業の中で、自分の考えをただ伝えるのではなく、感じたことや気づきを相手に返すことで対話ができるように、取り組む授業実践をしています。対話力、学びに向かう力、人間性です。10月までに、2回の全体授業と研究協議会を実施しました。



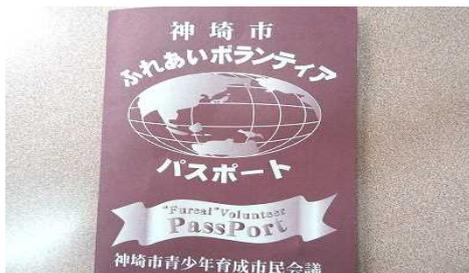
3年研究授業（伝え合い）



5年研究授業（伝え合い）

(2) ボランティア活動の推進

神崎市が推進しているボランティア活動とタイアップして、学校内外での小さなよい行いを記録に残し、記録してみんなで認めていこうという取り組みを推進しています。市から配布されているボランティアパスポートを活用しています。昨年度は、さわやか青少年センターから「学校賞」を頂きました。小さな一人一人の小さな行動が大きな流れになって行くように取り組んでいます。まさに、湖人先生の「白鳥蘆花に入る」の心です。



神崎市ボランティアパスポート



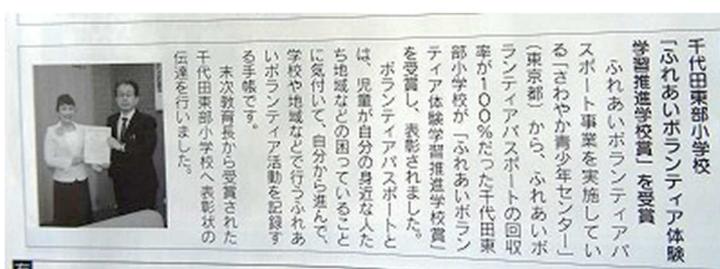
小さなよい行動もしっかり記録



ボランティア集会で（美化委員会）



集会の後、進んで体育館の窓しめ



神崎市報（5月号）に掲載



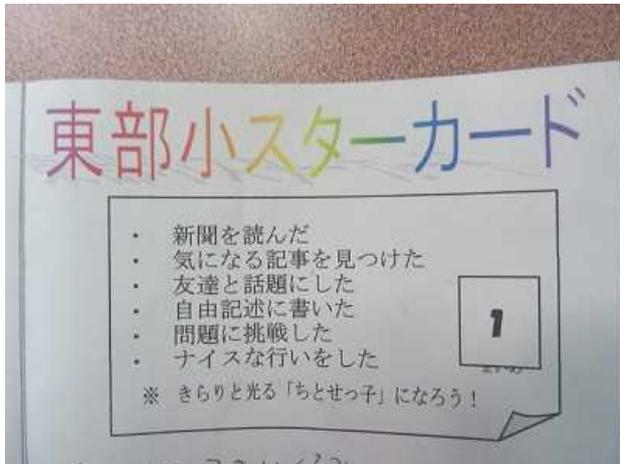
表彰状

(3) 自己肯定感（自分のよいところを見つけて、自信をもって伸びよう）の醸成

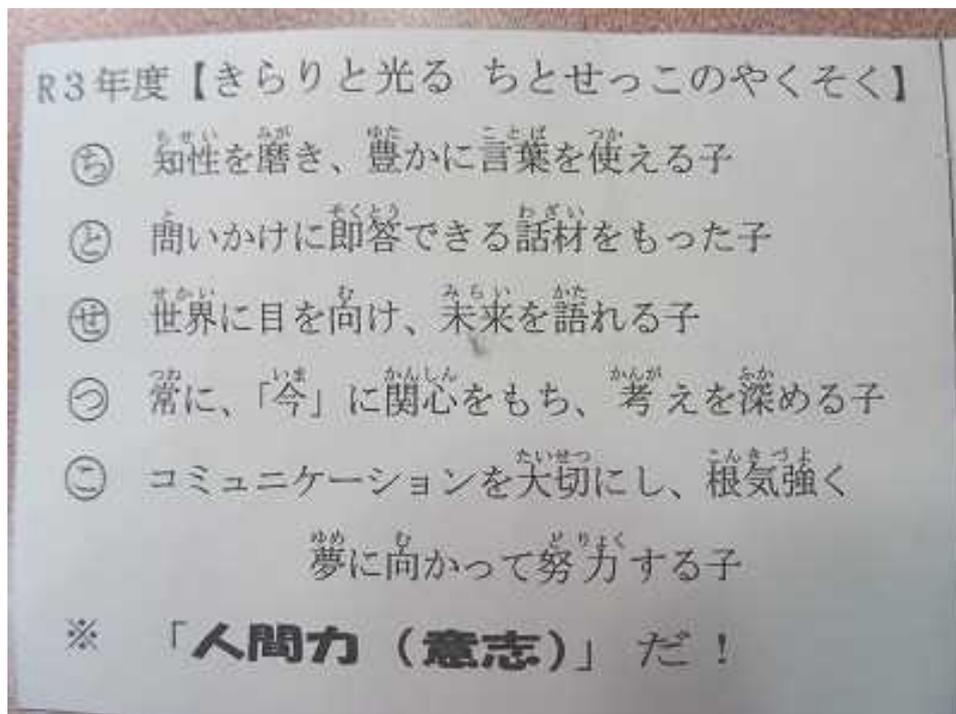
自分のよさを見つけ、友だちのよさを認め、目標に向かって伸びていこうという取り組みをしています。

<スターカードの取り組み>

当たり前のことを当たり前でできる児童をしっかり誉めてあげる、称賛してあげることで、自信をもち、意欲的に活動できるようになっていくことを願っての取り組みです。小さなことでも誉めて、認めていくことの積み重ねで自尊心を育てていくことが大事だと考えています。全職員が、スターシールを携帯し、いつでもどこでもシールを渡せるようにしています。



スターカードとスターシール



きらりと光る「ちとせっ子」をめざせ